

「ありたい未来」の実現に向けて必要とされる取組（重点プロジェクト：総合戦略）案

まちづくりの基本方針		ありたい未来・イメージ		関連施策	想定される事業
結婚・出産・子育て期に住み続けたいまちをつくる	本市は全国と比較して少子化傾向は少ないものの、子育て期に市外へ転出してしまいう地域特性があります。そのため、子どもが育つ環境の充実に努めるとともに、子育て世帯が暮らしやすいまちづくりを推進し、子育て期に住み続けたいまちとしてのブランドを形成します。 とりわけ、子育てに対する親の負担やストレスを軽減するとともに、親が実現したい暮らしの希望をかなえるための支援に努めます。	1) 子どもが育つ環境や子育てと生活を両立する環境のよさから、子どもを持つ家族が知立市に魅力を感じ定住する。	・ 子育て中の親が希望する暮らし方や働き方がかなう。 ・ 放課後児童クラブや相談体制の充実により子育てに対する安心感が高まっている。 ・ 学校教育やスポーツ、キャリア教育など、質の高い学びを地域で支える環境が整っている。	1. 妊娠から出産・子育て期までの切れ目のない支援（健康増進課・子ども課） 2. 保育・放課後児童クラブの質の充実（子ども課） 3. 子育て世帯を地域・社会で支える仕組み（福祉課・子ども課・学校教育課） 4. きめ細やかな支援が必要な家庭や子どもへの支援の充実（関係各課） 5. 保護者が自分の時間を過ごせる機会の創出（家事・育児支援等）（健康増進課・子ども課） 6. 子どものそばで働ける環境づくり・創業支援 7. 子育てに係る経済的な負担を軽減する仕組み（学習支援、子ども食堂等）（福祉課・子ども課） 8. 質の高い学校教育の推進（教育庶務課・学校教育課） 9. 子どもを地域で育てる仕組み（スポーツ、文化芸術、キャリア教育等）（学校教育課） 10. 子どもの主体性や意見を尊重する仕組み（学校教育課・子ども課）	・ にじいろニコニコ出産・子育て応援交付金事業 ・ 産後ケア事業 ・ こんにちは赤ちゃん訪問事業 ・ こども家庭センター ・ 放課後児童クラブ ・ 子育て支援センター ・ ファミリー・サポート・センター ・ 子育て応援団事業 ・ こども 110 番 ・ 学校安全ボランティア（スクールガード活動） ・ 子どもの居場所づくり（子ども食堂等） ・ 特別保育（一時保育・休日保育、病児・病後児保育） ・ 民間保育所保育補助者雇用事業 ・ 子どもサポート教員配置事業 ・ 少人数学級事業 ・ 魅力ある学校設計事業 ・ 早期適応教室推進事業 ・ 水泳授業等支援事業 ・ 中学校部活動指導員の配置 ・ 放課後子ども教室 ・ コミュニティ・スクール ・ 生活困窮者子どもの学習・生活支援事業 ・ 子ども議会 ・ ちりゅうこどもフェスティバルの支援
		4) 様々な人が自己実現したり、交流を深められる場や機会が新たな投資により創出され、まちに対する誇りが育まれる	・ 子どもを持つ世帯が集まり交流できるイベントが開催される等により、子育てを応援するまちとしてのイメージが定着する。	1. 子育てママ・パパの交流機会の創出（子ども課・健康増進課） 2. 子育てママ・パパが子どもと一緒に楽しめる場・機会の提供（子ども課・健康増進課） 3. 不妊・不育に関する相談支援（健康増進課） 4. 国籍に関わらず、育児情報へのアクセスや育児相談、地域でのつながり作りができる場の創出（企画政策課）	・ 子育てママ・パパのための交流イベント（働いている世代が参加できる工夫、デジタル活用等） ・ 子育てママ・パパが子どもと一緒に楽しめる場・機会の充実 ・ 生涯学習講座の充実（子育て世帯をターゲット） ・ 不妊治療費助成事業（健康増進課） ・ 多文化子育てサロン事業 ・ 多言語 Facebook の運用
居住地として	本市はものづくり産業を中心とした西三河地域	2) 生活するまちとしての	・ 駅周辺には日用品購入や食事ができる場な	1. 名古屋からの移住を目的としたブラン	・ 知立駅周辺土地区画整理事業

選択される新たな流れをつくる	で働く人が暮らすまちとして成長してきました。一方、ものづくり産業の景況に応じて人口変動するという地域特性を有しています。今後、リニア中央新幹線の開業により名古屋駅周辺の中核性向上が見込まれる中で、本市の交通利便性を生かし、そこで働く人の暮らしの場としての機能を高めていきます。 本市は東海道の宿場町で交通の要衝として発展した歴史のあるまちです。地域資源を磨き上げるとともに、多くの人々の交流を促すことで、本市に対する市民の誇りを育み、転出の抑制に取り組めます。	ブランド力が高まり、西三河に加え名古屋で働く人が、知立駅をはじめとする鉄道駅周辺を居住地として選択する。	どができ、近隣に暮らす人たちの生活利便性が向上する。 ・名古屋までのアクセス優位性と利便性の高い生活環境、子育て環境のよさから住みたいまちとして注目される。 ・名鉄名古屋本線・三河線の高架化が進み、沿線のブランド力が一層高まる。 ・リバースモーゲージ等の活用により中古住宅の流通が活性化し、若い世代の住宅の選択肢が増える。 ・古い住宅は店舗や飲食店等にも利用され、個性的で魅力的なスポットが市内各地に創出される。	ディング（企画政策課） 2. 良質な住宅・宅地の供給（建築課・都市開発課・まちづくり課） 3. 住まいに関する相談体制の充実（建築課） 4. 空家対策・利活用の推進（建築課） 5. 中古住宅の改築推進による流通支援（建築課）	・知立駅南土地区画整理事業 ・知立蔵福寺土地区画整理事業 ・鳥居地区土地区画整理事業 ・知立西新地地区市街地再開発事業 ・都市計画道路整備事業 ・空家・中古住宅の流通・利活用に関する民間との連携（リノベーション・リバースモーゲージの推進等） ・住宅取得・住み替え等の相談 ・多世代住宅補助 ・定住者に対するインセンティブの付与（経済的なものではなく、手厚い情報提供等） ・地域性、人やお店等のブランディング
		4）様々な人が自己実現したり、交流を深められる場や機会が新たな投資により創出され、まちに対する誇りが育まれる。	・公共施設や知立駅周辺整備で生まれる広場等が積極的に利用され、趣味や学び、市民活動等を行うために多くの人が訪れる。 ・市民相互の新たな交流が促進されることで、市民主体による多様な活動を生み出すエコシステムが形成される。	1. 市民が活動できる場や仕組みの創出（公園・広場等の民間活力の活用、マルシェ等の集客・交流イベントが開催される仕掛け）（都市計画課・経済課） 2. 生涯学習・スポーツ等の自己実現を促す仕組み（生涯学習スポーツ課） 3. 生涯学習の担い手育成の促進（生涯学習スポーツ課） 4. 市民活動の活性化支援（協働推進課） 5. 同じ関心を持つ人が出会う・つながる仕組み（企画政策課）	・知立駅周辺公園整備事業 ・知立駅周辺賑わいづくり事業 ・知立駅周辺エリアプラットフォーム事業 ・生涯学習講座の充実（多世代、特に若者・単身者をターゲット） ・生涯学習の担い手創出（得意なことがある市民を講師になる等） ・地域でのスポーツに関する活動支援（みなみスポーツクラブ等） ・スポーツに関する民間連携 ・プロスポーツ選手との交流 ・まちづくり推進支援・市民活動支援事業 ・ガバメントクラウドファンディング事業 ・市出身者を活用したイベント（自己実現・マッチング等）
		7）地域の歴史や文化、緑を継承するとともに、昔からあるものを大切にすることで、持続可能な風格のあるまちになっている。	・地元のまつりが盛り上がり、将来の担い手が着実に育っている。古くから受け継がれてきたまちなみや地域活動を次の世代に繋ごうとして活動する市民が増えている。 ・地域の課題を自分ごとととらえ、その解決を目的として活動する市民団体やコミュニティビジネスが増加している。 ・農地が保全されており、都市と緑が調和した良質なまちなみが継承されている。	1. まつり・伝統行事の保全・活用（経済課・文化課） 2. 歴史資産・文化財の保全・活用（経済課・文化課） 3. 農地の保全・活用	・歴史資産や文化財を活用したイベント等の開催 ・地域のまつり等に子どもや現役世代が参加しやすい仕組みづくり ・知立まつり、花しょうぶまつり等 ・農地マッチング ・営農者支援
		8）知立市で暮らす魅力や	・SNS やマスメディアによる情報発信を通じて	1. 市の発信力の向上（協働推進課・企画政	・転入者に対する支援の充実（転入届

		まちのよさが広く認識され、知立市民であることを誇りに思う人が増えている。	知立市の魅力が拡散され、まちの魅力に対する認知度やイメージが向上する。 - これまで知立市に対する思いのなかった市民が、知立市で暮らしている価値に気づく。その価値を更に発信する。 - 子どもたちが、知立市を理解し、好きになっている。知立市に対する興味が高まり、様々な地域活動に参加している。	策課・経済課) - 子ども・若い世代が地域の歴史・伝統文化等を学ぶ機会の創出(シビックプライドの形成)(企画政策課・文化課・経済課) - ブランド商品等の開発(経済課・財務課) - 多文化が息づく町としての魅力の再発見・ブランディング・情報発信の充実(企画政策課)	提出時の情報提供等) - 広報誌やホームページ、SNS 等の改善・充実 - LINE 公式アカウントの活用 - ちりゅっぴ、PR 部長の活用 - 大学・高校等との連携事業 - 知立らしさが活かされた特産品・グルメの開発支援 - ふるさと納税返礼品の開発・PR - 多国籍な地域資源(多国籍グルメ・イベント・人等)の情報の収集と発信
知立駅周辺の整備を契機に魅力的なまちをつくる	知立駅付近連続立体交差事業をはじめとする知立駅周辺の整備事業は、本市誕生以降で最大のプロジェクトになります。市内の南北の移動利便性を向上させるとともに、市民生活や産業活動の場を再構築し、本市で暮らす、働く場としての魅力を高めていきます。 都市基盤や施設などのハード整備を行うとともに、市民が市内で様々な活動を行い、楽しみながら交流を深めあうための仕組みづくりを行っていきます。	3) 知立駅周辺の整備をきっかけに、魅力的で便利な地域になり、そこで働く人や立ち寄る人が増える。	- 魅力的な店舗が立地するとともに、イベント等が定期的に開催され、駅周辺に行けば何か楽しい体験ができると思える雰囲気が醸成される。 - 知立駅から通勤・通学バスに乗り換えて通勤・通学する市外の人や知立駅から通勤・通学する市民が駅周辺で時間とお金を消費する。	- 基盤整備、連続立体交差の推進(都市開発課) - 土地の有効活用と都市機能集積の促進(都市計画課・まちづくり課・都市開発課) - 知立駅からの回遊を狙った観光の促進(経済課・都市計画課) - 生活必需品が揃う利便施設や飲食施設などの立地を誘導(まちづくり課・経済課) - 公共施設配置等の適正化(財務課)	- 知立駅付近連続立体交差事業・関連事業 - 知立駅周辺土地区画整理事業 - 知立駅南土地区画整理事業 - 知立西新地地区市街地再開発事業 - 都市計画道路整備事業(知立南北線等) - 知立駅周辺公園整備事業 - 観光交流センターの活用 - 観光情報の効果的な発信 - 新しい地域資源の発掘(人・お店・地域性等を活用) - 野外彫刻プロムナード - 公共施設のあり方の検討
		5) コンパクトなまちの特性を活かして、公共交通や自転車・徒歩による移動がしやすくなるとともに、ゆっくりとした移動を楽しむまち、遠距離移動に頼らない暮らしが形成される。	- 宅配サービスの普及や自転車等のシェアリングシステム導入等により自家用車がなくても困らない生活環境や移動手段が構築されている。 - まちなかに休憩スポットや立ち寄りスポットが立地し、散策や自転車によるゆったりとした移動を楽しむことができ、健康づくりに関心を持つ人が増えている。	- 市民の移動を支援する仕組み(まちづくり課・経済課) - 歩行空間の確保、道路の修景の推進(土木課・都市計画課・都市開発課) - 市街地における緑化推進(土木課・都市計画課) - 休憩空間の整備(経済課・土木課・都市計画課) - 移動スーパー事業が展開される仕組み(長寿介護課) - 健康づくりを応援する仕組み(健康増進課)	- 地域公共交通事業(ミニバスの利便性向上) - ライドシェアやシェアサイクル等の新たなモビリティの推進 - 駅前広場における鉄道・バス・タクシー等、交通手段相互の連携強化 - 幹線道路の歩道整備 - 緑化推進事業 - 散歩みち整備事業 - ユニバーサルデザインの推進 - ベンチ等の休憩スペースの設置 - 移動スーパーへの支援 - 健康知立マイレージ事業 - 健康イベント
市内に新たな雇用をつくる	市内には雇用の場が少なく、多くの市民は市外で働いています。そこで、市内への企業誘致や知立駅周辺に賑わいをもたらす店舗等の立地を誘	3) 知立駅周辺の整備をきっかけに、魅力的で便利な地域になり、そこで働く人	自身の希望に応じた働き方に合わせた起業にチャレンジする人が増えている。市内にコミュニティビジネスが生まれ、様々な形態の	- 企業誘致の推進(企業立地推進課) - 商工業の活性化(経済課) - 雇用拡大の促進、就業支援(経済課)	- 企業誘致(工場、様々な業種のオフィス等) - 企業立地推進補助金(再投資、オフ

	導することにより、市民が地元で働く選択肢を増やします。 とりわけ市民や通勤・通学で知立駅を利用する多くの人が、本市で過ごす時間を楽しめるように、様々な形態の小売・サービス等の誘致・創業や市民による起業を促進します。	や立ち寄る人が増える。	小売・サービス、観光事業等が登場する。 豊富な人材が魅力となり、様々な業種の企業が新たに進出する。	4. 起業から自立までの支援（経済課） 5. 事業承継の仕組み（中小ものづくり事業者のM&A、小売・飲食事業の起業志望者への継業）（経済課） 6. 多様な働き方の実現可能な企業の拡大（経済課） 7. 外国人材の活躍（企画政策課）	イス補助金等） - 新規創業事業補助金 - 商工業活性化補助金 - 週末創業個別相談会 - コワーキングスペース、シェアオフィス、チャレンジスペース等の支援 - 中心市街地出店者支援補助金 - スタートアップ企業への支援（スタートアップと市内企業・大学などとの連携等のビジネスマッチング・産官学連携） - リスクニング・学びなおしの機会づくり - 起業への働きかけ（働き方の選択肢を増やす等） - 日本語教室 - 外国人市民向けキャリア・起業支援
多様な市民が安心して暮らせる協働のまちをつくる	本市では、子どもが世帯から独立した单身もしくは夫婦のみの高齢者世帯やものづくり企業の従業員をはじめとした男性単身世帯が多いという特徴があります。また、5千人を超える外国人が暮らしています。 このように国籍や世代、家族構成など、様々な人たちが暮らす本市において、お互いの価値観の違いを認め合うとともに、全ての人が孤立することなく社会参加できる地域をつくります。また、市民の主体的な地域活動を促進し、暮らしやすい地域を形成します。	6）全ての市民が孤立することなく、地域社会とのつながりを感じながら安心して暮らしている。	- 文化や習慣、価値観の違いを理解しあい、あらゆる人たちがお互いを認め合っている。 - 様々な社会参加の機会が提供されるとともに、誰もが気兼ねすることなく参加しやすい雰囲気が創出され、人との出会いやつながりが生まれている。 - 高齢者、単身者、外国人はじめ、全ての市民が地域社会の一員であることを認識できている。	1. 地域共生社会の実現（関係各課） 2. 社会からの孤立を防ぐ（関係各課） 3. 地域における交流の場、居場所づくりの促進（福祉課・長寿介護課） 4. 国籍に関わらず暮らしやすい環境づくり（多言語対応・情報発信） 5. 多文化共生の意識づくり（企画政策課） 6. 男女共同参画の意識づくり 7. 様々な人権に対する理解、啓発の推進 8. 外国人市民の社会参画の促進（企画政策課） 9. 日本語教育の充実（子どもから大人まで）（協働推進課・企画政策課・学校教育課） 10. まちづくり活動団体向け活動助成（協働推進課） 11. 自治会活動のデジタル化の推進（協働推進課）	- 重層的支援（高齢者・困窮・障がい・子ども） - 地域包括ケア（高齢者福祉の一体的支援） - 障害者相談支援事業 - 生活困窮者自立相談支援事業 - 成年後見支援センター事業 - 地域生活支援拠点整備事業 - 引きこもり等支援事業 - 子ども食堂 - 高齢者サロン - まちかど運動教室 - 国際交流協会への支援 - 日本語教室 - 多文化子育てサロン - 日本語学習支援補助金 - 外国人向け進路説明会 - 通訳・翻訳の充実 - やさしい日本語・多言語 Facebook - 市民向け多文化情報の発信 - 外国人市民からの意見聴取 - 早期適応教室推進事業 「人権尊重のまち宣言」の周知 - 人権教育・啓発推進事業 - まちづくり推進・市民活動支援事業 - ガバメントクラウドファンディング

					事業 ・ パートナーシップ・ファミリーシップ制度
		９）地震や集中豪雨などの自然災害や犯罪に対する不安を感じることなく、安心して暮らせるまちになっている。	・ 地域の防災体制が充実するとともに、市民一人ひとりが災害発生時の行動を認識しており、大規模災害に対する不安が少なくなっている。 ・ 防犯体制や交通安全対策が充実している。	1. 自然災害に対する備えの強化（関係各課） 2. 地域の自治力・防災力の強化（協働推進課・福祉課・安心安全課） 3. デジタルを活用した災害対策機能の強化、避難支援（シームレス避難所システム等）（安心安全課） 4. 避難所のバリアフリー化（多言語対応・ピクトグラム活用等）（安心安全課） 5. 犯罪や交通事故の起きにくいまちづくり（安心安全課）	・ 防災行政無線更新事業 ・ 防犯情報メール配信事業（すぐメール） ・ 災害協定 ・ 受援体制の更新 ・ BCP（業務継続計画）の更新 ・ 耐震改修事業、耐震改修促進事業 ・ 家具転倒防止器具配布及び設置支援事業 ・ 空家対策事業（適正管理の助言） ・ 老朽化管きょ改修事業 ・ 河川維持補修事業 ・ マンホールトイレ設置事業 ・ 雨水ポンプ場長寿命化事業 ・ 避難所運営（デジタルの活用等） ・ 福祉避難所 ・ 消防団活動推進事業 ・ 自主防災組織支援事業 ・ 防災リーダー・防災士等の人材育成 ・ 夜間防犯パトロール事業 ・ 街頭防犯カメラ設置事業 ・ 防犯灯管理事業 ・ 防犯カメラ設置事業 ・ 防犯用具購入費等補助事業 ・ 排水路改修事業 ・ 特殊詐欺対策電話機器等購入補助事業 ・ 自転車乗車用ヘルメット購入費補助事業 ・ 交通指導員設置事業 ・ 運転免許証自主返納支援事業 ・ きずなネット